

協会けんぽ山口支部における職域検査促進の取り組みとフォローアップ体制の確立

研究分担者：日高 勲 済生会山口総合病院 消化器内科
研究協力者：新里 英輝、加藤 泰大 全国健康保険協会山口支部

研究要旨：受検啓発の取り組みにより、健康増進事業や特定感染症事業による肝炎ウイルス検査の受検者数は増加した。一方で、職域における肝炎ウイルス検査が進んでいない現状がある。協会けんぽでは、624円の自己負担額で受診可能な肝炎ウイルス検査 option を有するも、その受検率は年1%前後であった。研究班の先行研究同様、協会けんぽ山口支部でも2018年度より簡易リーフレットを導入したところ、受検者数は2-3倍に増加した。また陽性者の受診状況を調査した結果、70%以上の陽性者が検査後、医療機関を受診していることが確認された。2021年1月より独自に作成した陽性通知書送付による受診勧奨を開始し、新たな受診者が確認された。

A. 研究目的

わが国には約350万人の肝炎ウイルスキャリアがいると推定され、ウイルス肝炎は国民病であると記述されている（肝炎対策基本法前文）。ウイルス性肝炎に対する治療は飛躍的に進歩しており、ほとんどの患者で病態制御が可能で、専門医による適正な診断・治療が望まれている。

検査未受検の陽性者に対する対策として2002年度から老人保健法（現在健康増進法）で主に国民保険加入者を対象者として市町村主体の肝炎ウイルス検査が行われ、現在も健康増進事業による肝炎検査が継続されている。また、特定感染症事業として県や保健所実施の肝炎ウイルス無料検査が実施されている。近年、自治体における肝炎ウイルス検査受検啓発が盛んに行われており、山口県においても、県と肝疾患診療連携拠点病院が中心となり、特定感染症事業による肝炎ウイルス無料検査の受検啓発を実施し、肝炎ウイルス検査の受検者数は増加を認めている。

一方で、全国健康保険協会（協会けんぽ）や健保組合の職域における肝炎ウイルス検査が進んでいない現状がある。約3000万人が加入する我が国最大の保険者である協会

けんぽでは、624円の自己負担（協会けんぽが1455円を負担）で肝炎ウイルス検査を受診可能な option を有するも、その受検率は年1%程度であった。先行研究（協会けんぽ福岡支部）では、受検申込書の文字数が多い事に着目し、簡易リーフレットを作成したところ、受検率は約10倍に増加を認め、簡易リーフレットを用いた個別勧奨のよる効果が確認されている。

山口県においても先行研究「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」において、協会けんぽ山口支部で同様の簡易リーフレットによる受検勧奨による効果検証を開始しており、本研究でも研究を継続し、その効果検証を行う。さらに、陽性者のその後の受診状況についても実態把握を行い、未受診者への対策を考案し、受診率向上につなげることを目的とする。

B. 研究方法

2018年度より協会けんぽ山口支部内全健診実施医療機関から、個人に郵送する健診案内に研究班作成の簡易リーフレット兼受検申込書（図1、2021年からは協会けんぽ

で改定された全国版簡易リーフレットを使用)を同封し、受検数(率)、検査陽性者数の増加の有無を検証する。



図1. 協会けんぽ肝炎検査簡易リーフレット

また、協会けんぽ支部の事業担当者がレセプト情報を確認し、陽性者の医療機関の受診状況について実態調査を行う。

さらに2021年1月より、分担研究者が協力し、協会けんぽ山口支部で作成した図2のような陽性通知書(受診勧奨文書)と山口県で作成した職域検査における初回精密検査費用助成案内リーフレット、肝疾患専門医療機関一覧表を、レセプト上で未受診と考えられる陽性者に協会けんぽより送付し、受診につながるか効果検証を開始する。



図2. 陽性通知書(受診勧奨文書) 初回精密検査費用助成案内リーフレット

C. 研究結果

受検数、受検率の推移と陽性者数

簡易リーフレット同封前の2017年度の肝炎ウイルス検査受検数は1087件(健診受検者の1.1%)であった。簡易リーフレット送付後の受検数(受検率)は、2018年度

3419件(3.4%)、2019年度2496件(2.4%)、2020年度2165件(2.0%)、2021年4-11月1096件(1.4%)であり、簡易リーフレットに変更後受検者数は2-3倍に増加した(図3)。

検査における陽性者は2018年度28名(HBV12名、HCV16名)、2019年度15名(HBV8名、HCV7名)、2020年度17名(HBV8名、HCV9名)であった。

協会けんぽ山口支部における検査数の推移

	健診数	肝炎検査数	受検率
2017年	95767	1087	1.1%
2018年	99607	3419	3.4%
2019年	104358	2496	2.4%
2020年	105921	2165	2.0%
2021年4-11	80997	1096	1.4%

図3. 肝炎ウイルス検査の検査実施数の推移

受診状況と受診勧奨の効果

レセプトデータにより受診状況を確認したところ、2018年度陽性者28名中21名(75%)、2019年度陽性者15名中11名(73.3%)、2020年度陽性者17名中11名(64.7%)の受診が確認できた。さらに受診者の受診時期についても確認したところ、75%以上が3か月以内に、90%以上が6か月以内に受診しており、陽性判明後比較的早期に受診していることが判明した。

2020年度に分担研究者と研究協力者、協会けんぽ山口支部の保健指導員(肝炎医療コーディネーター)で、生活習慣病の指導で実施している文書を参考に、新たに作成した陽性通知書(受診勧奨文書)を作成、陽性通知書と山口県で作成した職域検査における初回精密検査費用助成案内リーフレット、肝疾患専門医療機関一覧表を協会けんぽ山口支部より未受診者に送付する受診勧奨を2021年1月より開始した。2018年度・2019年度の未受診者10名に2021年1月に受診勧奨を行い、その後1名(HBV)の、

2020年度の未受診者7名に2021年9月に受診勧奨を行い、その後1名（HBV）の新たな医療機関受診が確認にされた（図4）。

陽性者の受診状況(レセプトデータより)				
	陽性者数	陽性者数	受診数	受診率
2018年度	28		21	75%
HBV	12		9	75%
HCV	16		12	75%
2019年度	15		11	73.3%
HBV	8		4	50%
HCV	7		7	100%
2020年度	17		11	64.7%
HBV	8		5	62.5%
HCV	9		6	66.7%

2018年度未受診者のうち2名
2019年度未受診者のうち1名
は過去に計画的診察あり

受診勧奨の現状				
受診期間	勧奨文送付日	送付件数		受診者数
2018年4月～ 2020年3月	2021年 1月14日	10	HBV 7 HCV 3	1 0
2020年4月～ 2021年3月	2021年 9月13日	7	HBV 4 HCV 3	1 0

図4. 陽性者の受診状況と受診勧奨の現状

D. 考察

従来の検査申込書では、協会けんぽ山口支部における肝炎ウイルス検査の受検数は年間約1000件（受検率約1%程度）であったが、簡易リーフレット配布に変更後、受検数は2-3倍に増加し、リーフレットの有効性が確認された。研究班の他支部での同様の検証と比較し、増加率は低いものの、山口県では以前より特定感染症事業における肝炎ウイルス無料検査の受検啓発を医療機関における健診部でも積極的に実施してきたことが背景にあるためと推測する。

協会けんぽは保険者でもあり、医療機関受診者のレセプトが確認できるため、レセプトデータより受診状況の推測が可能である。レセプトデータによる調査の結果、検査陽性者70%以上が、検査後比較的早期に、医療機関を受診していることが判明した。受診率が高い要因について今後さらなる検討を行い、政策提言につなげたい。

今年度新たに、未受診者への書面での受診勧奨を開始した結果、2名の新規受診につながった。受診勧奨後の受診率増加はわずかであり、さらなる取り組みが必要と考えるが、協会けんぽ山口支部では所属するすべての保健指導員が肝炎医療コーディネーターの資格を取得しており、肝炎に対する知識を有し、受診勧奨の必要性も理解度

が高く、さらなる受診勧奨につなげていきたい。

E. 結論

簡易リーフレットによる受検啓発により、肝炎検査受検数の増加を認めており、職域における肝炎検査促進に簡便かつ有用な取り組みである。

レセプト調査の結果、検査陽性者の多くが、その後医療機関を受診していることが確認され、受検啓発が新規患者の受診につながった。協会けんぽでは受診状況が確認可能で、医療機関未受診者のみに効率的な受診勧奨が可能で、受診勧奨により新たな受診が確認された。

F. 政策提言および実務活動

<研究活動に関連した実務活動>

研究班の活動を契機に、協会けんぽ山口支部の保健指導員が肝炎医療コーディネーターを取得している。定期的な協議を実施するだけでなく、県の肝炎医療コーディネーター研修会で、協会けんぽの保健師にパネリストとして活動を報告していただき、相互理解に取り組んでいる。

G. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

なし

3. その他

啓発資料

なし

啓発活動

日高 勲：講演「多職種で取り組む肝炎医療コーディネーター活動」

令和3年度第1回香川県肝炎医療コーディネ

ーター養成研修会

2021年10月16日 主催：香川県

日高 勲：講演「ウイルス性肝炎に関する
患者・家族指導に必要な知識を学ぼう」

令和3年度 山口県看護協会一般教育研修

2021年11月27日 主催：山口県看護協会

日高 勲：講演「多職種協働で取り組む受
検・受診・受療～山口県における肝炎対策
11年の歩み～」

令和3年度肝疾患研修会 2021年11月30日

主催：山口大学医学部附属病院

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし